

令和7年度 淡路島総合観光戦略（2023～2027年度）アクションプラン

資料3

基本戦略（サステナブル戦略）：「島内外から支持される観光地」をめざし、環境保全に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			JSTS-D項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
◆持続可能な取組に配慮した観光地域づくりを推進するための意識啓発と取組の推進	○事業者や施設におけるSDGsに配慮した取組の公表などの見える化の促進	SDGs推進宣言事業への参画	・ひょうご産業活性化センターが実施するSDGs推進宣言の事業を活用し、当該事業への登録等を促進する。	観光協会、島内商工会議所・商工会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	SDGs推進事業宣言：淡路地域305社（全県4,430社）が登録済。観光協会等会員への呼びかけ等を通じて登録を促進する。			B 4
◆環境保全活動と観光を関連付けた取組の推進				観光協会	観光協会会員	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	各会員にSDGs推進宣言事業企業の登録、ひょうごSDGsHubへの参画を働きかけた			B 4
◆観光事業者だけではなく、島内各産業や住民に経済波及効果を与える「域内調達率UP」の推進		【3海峡クリーンアップ大作戦の活用】 3海峡クリーンアップ大作戦への参加	・渦潮世界遺産登録運動にて実施している3海峡クリーンアップ大作戦の参加を、観光協会職員及び会員事業所にも呼びかける。	観光協会	観光協会会員	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	11/2(土)「3海峡クリーンアップ大作戦」への参加を会員事業所に呼びかける			B 4
◆観光を支える人財（外国人労働者、セカンドキャリアを求める者等）の確保と観光人財の満足度（ES）の向上		【3海峡クリーンアップ大作戦の活用】 3海峡クリーンアップ大作戦（又はその他の観光クリーンアップ施策）の旅行商品化	・3海峡クリーンアップ大作戦に観光客も参加できる仕組みもしくは観光客参加型の旅行商品を造成する。 ・宿泊・観光施設と連携したインセンティブの付与や観光客が参加しやすい環境を整備する。	観光協会	県、3市、3海峡クリーンアップ大作戦実行委員会、観光協会会員、各旅行会社	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	協会HP「新着ニュース」への掲載を通じて、観光客にも情報発信する			A 10
◆年間の観光需要の平準化、平日の観光需要の喚起	○世界遺産登録をめざす鳴門海峡の渦潮の環境保全活動と観光が連携した取組の推進	さんぽDEゴミ拾い（うみぞら映画祭で実施中の3海峡拡大）	・うみぞら映画祭時に実施している「さんぽDEゴミ拾い」を、3海峡での実施に拡大検討を依頼する。 ・当施策に合わせて道の駅や主要交通拠点、集客施設などにおけるゴミ回収BOXの設置場所の調整を実施する。	観光協会	実行委員会、施設管理者、県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	さんぽDEごみ拾いin淡路島を開催（ひょうご瀬戸内ごみゼロ青年団） 実施日時：令和7年5月30日～7月11日 協力店舗：島内15店舗			B 4
		「鳴門の渦潮」国際シンポジウムの開催	・鳴門の渦潮の顕著な普遍的価値を発信する。 ・現地ツアー開催により淡路の食・歴史・文化を国内外に発信する。	県、兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会、観光協会	3市	準備	準備	実施	-	-	交流渦潮課（渦潮）	「鳴門の渦潮」の普遍的価値を国内外に発信するため、海外関係者参加による国際シンポジウムを開催した。（9月1日 南あわじ市）			C 8
	JSTS-Dのガイドラインを活用した評価指標の設定と推進		・淡路島総合観光戦略とJSTS-Dのガイドラインが合致する項目を抽出する。 ・現状分析とあわせて、推進状況を自己分析するツールとしてJSTS-Dを活用する。	観光協会、県、3市	観光協会会員	準備	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	令和7年度において、前年度より追加したアクションプランに対しての項目を設定した。	○		A 1
	○持続可能な取組につながるコンテンツの開発（先進事例の研究と実践方法の検討）	【SDGsコンテンツの活用】 ステップ1：淡路島ならではの豊富なコンテンツを生かしたSDGsコンテンツの可能性の洗い出し	・島内に散在するSDGsコンテンツの洗い出しを実施する。 【例】 ・漂着物の多い海岸の流木をキャンプ場の焚火に活用 ・経産牛を延長飼育し、肉牛として再活用 ・廃棄される網にかかった小魚の活用 ・たまねぎの皮の再利用	観光協会	3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	藍と玉ねぎの皮で染める淡路島オリジナルの藍染体験コンテンツを含め、9プランを新規に造成	○		A 10
		【SDGsコンテンツの活用】 ステップ2：洗い出したSDGsコンテンツの有効活用	・洗い出したSDGsコンテンツをもとに、HPにおける情報発信や、着地型体験コンテンツ・宿泊施設におけるオプションプランとの組み合わせなど、観光協会HPからも予約販売できるようにするなど有効活用を図る。	観光協会	関連事業者	研究検討	準備	実施	実施	実施	観光協会	・観光協会HP掲載をはじめ、多言語化し海外OTAサイト「KKDAY」への掲載 ・「アクティビティジャパン」サイトでの販売開始 ・Localprime（神姫バス）サイトでの販売準備中 ・宿泊施設HPへのリンク掲載のほか、「体験コンテンツ×宿泊プラン」の連携販売（あわかん）開始	○		A 10
	リジェネラティブツーリズムの推進（クリーンアップ活動等の観光コンテンツ化）	・現在、地域で取り組んでいる環境に良い影響を与える活動に、観光客も参加することで、旅の満足度を高める。	活動団体、観光事業者	南あわじ市		準備	実施	実施	実施	実施	南あわじ市商工観光課	3海峡クリーンアップ大作戦等の清掃活動に観光客が参加できるよう働きかける。	○		A 10 B 4
	観光分野におけるフードロス削減の取組	・飲食提供施設におけるフードロスの取組を、先進事例を学ぶことからはじめ、活動を全島に拡大する。	事業者			実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	淡路県民局環境担当部署の「フードドライブ」活動を、会員に呼びかけた			B 4
	大浜公園の利用促進	海水浴シーズン以外での公園利用を促進するため民間活力を生かしたイベント等を誘致する。	洲本市			実施	実施	実施	実施	実施	洲本市商工観光課	うみぞら映画祭、花みどりフェア、みんなでつくる洲本市PRイベント等の各種官民のイベントを連携し開催。相乗効果により、多くの来場者が賑わった。	○		A 10 B 4

基本戦略（サステナブル戦略）：「島内外から支持される観光地」をめざし、環境保全に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D 項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
○観光と地域おこしが連携した取組の推進（先進事例の研究と実践方法の検討）	淡路市まちの魅力度アップ支援事業	地域再生アドバイザー派遣	・有識者による指導・助言等の支援を行うことで、来島者を惹きつける地域の価値を再発見し、住民主体の地域づくりを促進する。	県	3市、企業、町内会等地域団体	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（多自然地域づくり）	淡路市1件の派遣実績あり			B 4
		地域×大学×企業の「ひょうご絆プロジェクト」	・地域と大学や企業が連携し、大学・企業の持つ資源の活用や学生等の外部人材との交流により誘客につながるにぎわいづくり等の活性化を促進する。	県	3市、大学、企業、町内会等地域団体	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（多自然地域づくり）	4地域で実施（洲本市2、南あわじ市2）			B 4
		南あわじ市地域づくりチャレンジ事業	・地域づくり協議会が事業者等と連携し、地域課題の解決に向けて取り組む事業に対して支援を実施する。	南あわじ市	地域づくり協議会、自治会等のコミュニティ組織、企業、大学、NPO等	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市民協働課	チャレンジ事業として、松帆地区が継続事業として実施。			B 4
		【地域おこし協力隊の活用】 ステップ1：地域おこし協力隊と連携した地域ブランドの明確化とアクションプランへの反映	・淡路島が向かう方向性を、地域を愛し深く考えるメンバーと定期的に協議を開始し、より正しい方向性に沿ったアクションプランに反映する。	淡路市	地域住民で構成する団体	実施	実施	実施	実施	実施	淡路市まちづくり政策課	本年度の取組みとしては、概要に記載の内容を行い、7月末現在で、市内の11団体から交付申請を受けている（未交付）。			B 4
		【地域おこし協力隊の活用】 ステップ2：地域おこし協力隊及び協力隊OBとの連携によるコンテンツの開発	・上記のアクションプランに準じ、連携できる取組を着地型コンテンツとして観光協会HPから予約販売する。	観光協会	地域おこし協力隊、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	地域おこし協力隊OBも含め、情報共有や意見交換を続けていく			B 3 B 4
		地域づくり活動応援事業 ※万博枠	大阪・関西万博、AWAJI島博の開催に向け、地域の特徴・資源を活かした活動プログラムや、島内外からインバウンドを含む多様な人々が集う交流イベントの実施、域外への淡路島の魅力発信等を図る新たな取組に対して支援を行う。	県	地域団体等	-	実施	実施	-	-	交流渦潮課（地域）	4団体へ計1,105千円の補助金を交付決定した。			B 4
	○地元食材等の域内調達の改善 (域内事業者が仕入れできる仕組みづくり)	地元食材域内調達改善取組委員会（仮称）の設置と改善策の取組	・地元食材域内調達改善取組委員会（仮称）を立ち上げ、改善策と方法を検討し、地元食材等の域内調達を進める。	観光協会	県、3市、飲食・宿泊施設、JA、漁協、関連各事業者（水産加工会社など）	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	地元高級食材（赤ウニ・黄アジなど）活用について現状を把握			B 3
	○あわじ環境未来島構想と連携した事業実施（教育旅行や視察旅行に適したプログラムの開発など）	【あわじ環境未来島構想の観光活用】 ステップ1：あわじ環境未来島構想の事業の中で、SDGsと観光に関するコンテンツの洗い出し	・あわじ環境未来島構想推進協議会と観光協会で、洗い出しを実施する（旅行会社に参加してもらうことも検討）。	あわじ環境未来島構想推進協議会、旅行会社、観光協会	旅行会社	実施	実施	実施	実施	実施	県民課（未来島）	あわじ環境未来島構想を推進する取り組みの中で、観光商品にふさわしいコンテンツを抽出するとともに、過去の訪問先施設を分野別に取りまとめ、ホームページでの情報提供を行う。	○		B 4
		【あわじ環境未来島構想の観光活用】 ステップ2：あわじ環境未来島構想の観光プログラム化	・あわじ環境未来島構想が理解できる教育旅行、一般視察旅行それぞれに適したプログラムを他のコンテンツも含め組み合わせて作成し、その概要と手配方法を記載したwebページを作成する。	観光協会	あわじ環境未来島構想推進協議会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	農と食の持続に関連するコンテンツのうち、教育旅行や研修旅行受入に対応できるものを洗い出し中。			A 8 A 10
		【あわじ環境未来島構想の観光活用】 ステップ3：開発したプログラムの活用促進	・開発したプログラムを教育旅行は教育旅行社、一般視察は一般団体に活用を働きかける。	観光協会	あわじ環境未来島構想推進協議会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	開発したプログラムのうち有望なものは、教育旅行社等に売り込む。			A 10

基本戦略（サステナブル戦略）：「島内外から支持される観光地」をめざし、環境保全に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D 項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
○サイクリングの普及促進、環境配慮型モビリティ（EV、FCVのバス・レンタカーなど）の導入に向けた実証実験	公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進	公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進	・淡路島発着の公共交通乗換検索サイトを充実させる。	県	3市	支援	支援	支援	-	-	洲本土木事務所	淡路島発着バス検索サイト「バスモ」（乗換検索サイト）を多言語化（中国語・韓国語）し、日本語以外でも検索可能となるようサイトの改良を支援している最中。	○		B 8
		EV充電インフラの整備、充実と広報活動	・EV充電インフラ整備を交通拠点や集客施設、公共施設に働きかけるとともに、整備（設置）状況を整理しマップ・HPでの広報活動を実施する。	県、3市、くにうみ協会	事業者	実施	実施	実施	実施	実施	県民課（未来島）	概要と同じ			D 13
		【EVレンタカー・カーシェアの導入促進】島内宿泊施設等におけるEV充電器、EVレンタカーやカーシェアリングの導入促進	・今後の需要増加を見越して、島内宿泊施設等におけるEV充電器の設置を促進する。 ・二次交通に対応するため、EVレンタカーやカーシェアリングの導入を促進する。	観光協会	3市、宿泊施設・入場施設等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	R7.9～ 北淡IC高速バス停駐車場にカーシェア車を2台追加設置			D 13
		【EVレンタカー・カーシェアの導入促進】EV導入助成制度	・EV導入助成制度利用促進の働きかけ及び告知・広報を実施する。	くにうみ協会	民間事業者	実施	実施	実施	実施	実施	県民課（未来島）	2025年度から、従来の事業者等に加え、個人も助成対象に加えた。周知・広報を行うことで、更なるEVの普及促進を図る。			D 13
		【EVレンタカー・カーシェアの導入促進】EV公用車・社用車のシェアリング	・平日は、公用車や社用車で、休日は観光で利用できるEVカーシェアリングの導入を、島内で官・民が連携して取り組む。また導入にあたっては導入先進地への視察（ヒアリング）や関係部署との調整、運用規定の制定などを実施する。	県、3市、事業者		検討	検討準備	実施	実施	実施	県民課（未来島）	引き続き、先行地域やカーシェア事業者へのヒアリング等を行い、導入の可能性を探る。			D 13
		水素バス（FCVバス）の導入促進	・FCVバス導入に向けて導入先進地の視察を実施する。あわじ環境未来島特区制度を活用して自動車会社に事業協力パートナーとして働きかけや、国助成制度を獲得し実証実験を実施する。水素ST：神戸・徳島	県、3市	バス運行事業者、+自動車会社など関係事業者	検討	検討準備	実施	実施	実施	県民課（未来島）	島内での水素ステーション設置の検討状況に合わせ、水素バス導入の可能性を探る。			D 13
		大鳴門橋に開通する自転車道を活用した新たなサイクリングルートの開発	・令和9年開通予定の大鳴門橋自転車道を活用し、徳島（四国）とつなぐ広域のサイクリングルートを開発する。	県、南あわじ市、徳島県、鳴門市	観光協会	-	-	準備	準備	実施	南あわじ市商工観光課	ASAトライアングル交流圏推進協議会において、デジタルマップの広報物を作成、情報発信を実施。			A 1 0 B 8 C 6 D 2 D 1 3
		サイクリストの走行環境整備	①サイクリストが安全・快適に迷わず走行できるよう路肩拡幅、ルート案内標識設置等を行う。 ②多様なサイクリストが快適に休憩できるよう、交通拠点等でのサイクルラック整備や、海峡を望む箇所にフォトスポットを整備する。	県、3市		実施	実施	実施	実施	実施	洲本土木事務所	・路肩拡幅L=200m整備（L=40m整備済） ・ルート案内の路面表示25箇所設置、ルート案内標識10基設置 ・鳴門海峡を望む箇所（南あわじ市）で、フォトスポットを整備（R7.8月末 契約済）	○	A 9	
		サイクリストの受入環境整備	・サイクリスト目線のHPの充実を図る（観光宿泊施設などのサイクリスト支援情報の発信等）。	観光協会	サイクルショップ、+観光・宿泊施設など関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「淡路島の交通情報」などサイクリストからの要望を踏まえ、サイト掲載内容をブラッシュアップ			B 8
		ASAサイクリングおもてなしスポットの登録※ASA：AWA/SANUKI/AWAJI	・サイクリストの休憩場所や自転車の修理場所である「おもてなしスポット」を設置する。	南あわじ市	観光・宿泊・飲食施設など関係事業者、鳴門市、東かがわ市	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市商工観光課	観光施設以外にも「おもてなしスポット」を増やせるよう広報を実施している。（現在29スポット登録）			B 3 B 8
		シンボリイベントの開催	・他地域のサイクリングイベントとの連携も視野に入れたシンボリイベント（淡路島ロングライド150）を開催する。	淡路島ロングライド150実行委員会	県、3市、くにうみ協会、観光協会、関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	淡路県民局（総務企画室）	淡路島一周150kmのサイクリングコース（通称「アワイチ」）を自転車で走る「淡路島ロングライド150」を今年度は今秋と来春の2回開催する。	○	A 1 0	
		鳴門・南あわじサイクリスト向けイベントの開催	・大鳴門橋自転車道開通に向けて南あわじ市と鳴門市で連携したイベントを実施する。	南あわじ市、鳴門市	観光・宿泊・飲食施設など関係事業者、鳴門市民間事業者	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市商工観光課	道の駅うずしおのリニューアルに合わせて、サイクリスト向けの情報発信を検討中。			A 1 0 B 3 D 1 3
		ポタリングツアー実施	・レンタサイクルと飲食・観光施設を連携させたポタリングツアーの造成・販売を実施する。	観光協会	サイクルショップ、観光・宿泊施設など関係事業者	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	「サイクリングブック」をレンタサイクリングショップや掲載店舗に配付のみ。飲食や観光施設と連携したポタリングツアーの造成は、ナビゲーターが見つかり次第進める。			B 3

基本戦略（サステナブル戦略）：「島内外から支持される観光地」をめざし、環境保全に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D 項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
○住民への観光事業についての理解促進のためのセミナー、島民による観光資源体験ツアーの実施	【島民向け】観光産業に対する島民の理解促進意見交換会など広報施策の展開	・観光戦略の概要版作成や行政発行の広報誌を通じた広報を展開する。 ・地域経済の活性化にとどまらない観光産業の重要性や、多様化する来島者へのおもてなし技術向上の必要性などについて、島民や業界団体と意見交換を行い、観光産業への理解を促進することにより、戦略的円滑な推進を図る。	県、観光協会	3市、くにうみ協会	実施 実施 実施 実施 実施	交流渦潮課（観光） 観光協会	島民の観光に対する理解を深めるため、あわじ環境未来島構想推進協議会において、観光戦略の周知を図った（令和7年5月27日）。	○	A 1						
	島民dayの実施	・有料観光施設や宿泊施設に、無償又は廉価な価格設定で利用できる「島民特別開放デー」の設定を働きかける。	観光協会	観光協会会員施設、民間企業（会員外のリゾート施設運営会社など）	協議 実施 実施 実施 実施	観光協会	島民に淡路島観光の良さを知らせるため、観光協会の会員に対して島内在住者に対する特別サービスを設けるよう働きかける。			C 4					
	○観光関連人財の満足度を高めるための施策検討（満足度調査、各種セミナー、住環境整備など）	観光人財育成セミナーの開催	・島内の主要宿泊施設や観光施設等に従事するサービス提供者を対象に、淡路島の歴史・文化・食などのパックストーリー（背景）を、十分に来島者等へ伝え、満足させるような語りが身につくよう、自らの体験などを通じて、そのスキルを向上させる。 また、経営者に対するこのような取組への強い意識と理解を促進するセミナーも開催する。	観光協会	観光協会会員施設、民間企業（会員外のリゾート施設運営会社など）、県、3市、第3セクター	実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	・「食の伝道師」育成動画の活用及び「歴史」「産業」などを深掘り ・観光従事者などを対象に、引き続き本物体験プランの実体験を推奨（協会は事業者と体験料割引交渉を担当）			B 2				
		満足度向上にむけた先進事例の調査・研究・施策の実施	・先進地への視察、研修を実施する。 ・各分野のワーキンググループを新設する。 ・観光客（お客様）満足度調査（アンケート等）の実施、結果分析からの問題点を抽出し、改善策を検討する。	観光協会	観光協会会員施設、民間企業（会員外のリゾート施設運営会社など）、県、3市、第3セクター	実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	・お客様満足度向上に取り組む先進地事例を研究 ・満足度調査のフィードバックを活用し改善方法を検討			A 9				
		おもてなしの心コンテストの開催	・観光産業に従事する者のホスピタリティの向上及び職場のリーダー育成を目的として、接客を審査するコンテストを実施する。	観光協会	宿泊事業者	実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	【開催日】令和8年2月26日(木) 【場 所】プラザホテル淡路島 【内 容】テーマ「チームで繋ぐおもてなしリレー」 筆記試験及び実技試験			B 2 B 3				
	○外国人労働者等への各種サポート	淡路島創作料理コンテストの開催	・来島者を「食でおもてなし」する機運向上のため、淡路島の食材を活かした創作料理コンテストを通して、新しい島グルメを創作する料理人のモチベーション向上と、「食の島」淡路島の魅力向上を図る。	観光協会	県、3市、くにうみ協会、飲食事業者等	実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	【開催日】令和8年2月26日(木) 【場 所】プラザホテル淡路島 【内 容】テーマ「淡路島牛乳」			B 2 B 3				
		外国人ワーキングスキルアップの実施	・外国人日本語スキルアップ研修（又は勉強素材製作）を実施する。	南あわじ市、淡路市	商工団体	実施 実施 実施 実施 実施	南あわじ市、淡路市 商工観光課	南あわじ市：市内の在住外国人労働者等に対し、語学教室を実施予定。 淡路市：市内在住外国人に対し、ボランティア講師による日本語教室を年間を通じて開催する。現在、週1回（2時間程度）の教室を9箇所で実施し、ボランティアスタッフ8名で、受講対象者22名に対して講義を行っている。			B 2 B 8				
			・淡路在住のワーキングスタッフからのヒアリングなどを踏まえたうえで日本語スキルアップの教材を作成する。	観光協会	南あわじ市、淡路市	協議 実施 実施 実施 実施	観光協会	外国人ワーカーの日本語スキルアップ用教材製作の手がかりを得るため、淡路在住の外国人ワーキングスタッフに対してヒアリングを行い、教材制作の参考とする。			B 2				
○新卒採用者の確保（特に宿泊施設）	大学観光学部との定例ミーティングの実施	・観光協会と京阪神を中心とした大学観光学部と研究会的な定例ミーティングを行い、仕事としての業界の魅力とやりがいを伝えることによって、新卒採用者の確保に務める。	観光協会	大学観光学部、宿泊施設	実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	京都産業大学経営学部学生と、ガストロノミーツーリズムをメインとする淡路島の観光活性に関する共同研究を開始			B 2					

推進戦略1（商品戦略①：物語化）：「選ばれる観光地」をめざし、自然や歴史に培われた文化、産業、食の魅力・ポテンシャルを引き出す観光コンテンツの開発

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
◆淡路島の特性(強み)である「美食」「やすらぎ」「海」「歴史」など「ほんもの」を活かした、観光コンテンツづくりの推進 ◆兵庫テロワール旅にふさわしい地域の風土（テロワール）を活かしたコンテンツづくり ◆地域や資源をより深く楽しめるストーリーの磨き上げやストーリーテリング能力の開発による体験価値向上 ◆上記の観光コンテンツを基軸とした新たな観光商品づくりの推進	○日本遺産等の紹介にとどまらず、国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かすストーリーを観光コンテンツとしての作り込み、磨き上げ	【日本遺産の活用】 ステップ1：「なぜ古事記の国生み神話に淡路島が描かれたのか」にポイントを絞ったストーリー作りをし、有識者に確認を依頼する。	・日本遺産構成文化財を活用し、「なぜ古事記の国生み神話に淡路島が描かれたのか」にポイントを絞ったストーリー作りをし、有識者に確認を依頼する。	観光協会、淡路島日本遺産委員会	日本遺産構成文化財施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	海人の活躍や国生み神話につながるストーリーを深堀りし、関連する構成文化財をはじめ情報誌「dan」などを活用して発信。年4回予定	○	C 8	
		【日本遺産の活用】 ステップ2：背景を解き明かす観光コンテンツを造成し、磨き上げる。	・国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かす観光コンテンツを造成し、磨き上げる。	県、くにうみ協会、観光協会 3市	準備	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	松帆銅鐸と五斗長垣内遺跡（現地ガイド付き）を巡る「淡路島の古代歴史の謎をたどるプラン」を造成中	○	A 1 0 C 8	
		【日本遺産の活用】 ステップ3：淡路島日本遺産ファムツアーの実施＜情報発信その1＞	・淡路島日本遺産の主要コンテンツ「伊弉諾神宮・松帆銅鐸（玉青館）・五斗長垣内遺跡」の現地ガイド付周遊ツアーファムトリップを実施し、ツアー商品造成・販売を実施する。	観光協会、+淡路島日本遺産委員会 県、3市、くにうみ協会、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	下半期に首都圏旅行AGTなどを中心にFAMトリップを実施し、首都圏発プラン造成を働きかける		A 1 0	
		【日本遺産の活用】 ステップ3：淡路島日本遺産HPの充実：バイブル的存在に昇華＜情報発信その2＞	・ストーリーはテキストと動画を活用し、「古代のミステリーの謎解き」的なティストで、お客様参加型、地域への誘客（実際足を運びたくなる）を意識したHPにブラッシュアップを実施する。	観光協会 淡路島日本遺産委員会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	画像も含めて淡路島日本遺産HPのブラッシュアップ内容を検討中	○	A 1 0	
		【日本遺産の活用】 ステップ3：旅行者へ向けたストーリーの伝播＜情報発信その3＞	・日本遺産構成文化財（現地）で二次元バーコードによるHP誘導、宿泊施設での情報提供・二次元バーコード誘導、音声ガイドの新設（検討）、歴史系ガイド（養成含め）等を実施する。	3市、観光協会 観光協会会員	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	淡路島日本遺産サポートクラブ研修に加え、現在、募集中の「淡路島カルチャーアンダント」のなかで、歴史系が得意な人材を集め養成していく	○	A 1 0	
		【日本遺産の活用】 ステップ3：淡路島日本遺産キャラクターを活用したRPGの普及＜情報発信その4＞	・RPGキャラクターや文化財のグッズ（フィギュア・消しゴム等）の製作・販売を実施する。	観光協会、+淡路島日本遺産委員会 県、3市、くにうみ協会、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	国生み伝承を伝えるA5版クリアファイルの活用や、雑誌「ディスカバージャパン」掲載を通じて情報発信		B 4	
		【日本遺産の活用】 ステップ3：島外にむけたプロモーション活動＜情報発信その5＞	・日本遺産の紹介動画を制作する。 ・メディア（雑誌、SNS等）公共交通機関（空港・駅構内の広告やバスへの装飾等）を活用した情報発信を実施する。	観光協会 県・3市	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・関空（5/11～12）、大阪・関西万博会場（5/23～25、8/2、8/20～22）などのブース出展 ・日本遺産シンポ（10/11：津ミュージアム）、日本遺産フェスティバル（10/25～26：倉敷）、ひょうご日本遺産フェア（11/23：津ミュージアム）に出展予定 ・「歴史道」雑誌掲載		A 1 0	
		【日本遺産の活用】 「国生みの島・淡路」の重要なストーリー「御食国」を活用した、御食国キャラバン「はも道中」の実施	・祇園祭でぎわう7月初旬に、「御食国」を前面に打ち出したPRの展開として、夏の代表食材「はも」を産地である淡路島から京都八坂神社に奉納する「はも道中」を実施する。	観光協会 県、3市、くにうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「はも道中」 【日時】令和7年7月9日(水) 【場所】京都府庁（献上）、八坂神社及び周辺（はも奉納・はも素麺振舞及び練り歩き）		A 1 0	

推進戦略1（商品戦略①：物語化）：「選ばれる観光地」をめざし、自然や歴史に培われた文化、産業、食の魅力・ポテンシャルを引き出す観光コンテンツの開発

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D 項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
○地場産業や農水産業の日常や技術に触れ、美しさ、おいしさ、すごさ等を現地で体感できる観光コンテンツの造成（工場見学・ものづくり体験・魚介類のイートイン等）	食の背景の明確化と、観光協会グルメガイドHPのブラッシュアップ（バイブル的存在に昇華）	・食の背景（気候や土壤、人々の創意工夫や努力、機械化・技術による進歩、調理方法の工夫、サステナブルな取組等）を詳細化し、HPに掲載する。	観光協会	食のブランド「淡路島」推進協議会、各種協議会等	実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	観光客に対して食や食材の背景を語る「食の伝道師」育成用動画及びキストの活用と、「美食地質学」を映像化し「淡路島の食材が美味しい理由」を可視化しサイトに掲載。			A 1 0					
		観光協会グルメガイドHPの二次元コードを介した閲覧機会の拡大	・レストラン・食堂・観光施設等で二次元コードが読み取れるツールの設置と定着、及び宿泊施設夕食お品書きへの二次元コード掲載等あらゆる拡散手法を検討する。	観光協会	食のブランド「淡路島」推進協議会、各種協議会等	実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	宿泊施設夕食お品書きへの二次元コード掲載の徹底と、こだわり宣言店やレストラン、飲食施設等のメニューへの掲載を徹底			A 1 0				
		【地場産業・農水産業の活用】 ステップ1：地場産業、農水産業の臨場感あふれる現場を活用し、淡路島らしさにこだわった観光プログラム開発（国内外対応）	・地場産業においては、淡路瓦（南あわじ）・線香（江井）・手延べ素麺（福良）を第一ターゲットとし、本物見学（職人）・体験（お客様）・試食等を組合せブラッシュアップさせる。また、ガイド（コンシェルジュ）を養成し、生産者との橋渡し・コンテンツアレンジ・自らのガイドの高度化を実現する。 ・農水産業においては、生産者の臨場感を損なわない雰囲気・空間の中での魚介類・農産物のお土産販売と、地産地消にこだわったBBQ・イートイン設置等を含む食事提供の拡販の実現に向けて取り組む。	観光協会	島関連団体、観光事業者等	実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	・由良漁協セリ見学後、由良一本釣り魚ランチなど農水産業の収穫体験や、海ホタルショーと古民家での地産地消にこだわった食事など、色々な体験コンテンツを掛け合わせたプランを造成 ・コーディネーター的ガイド【英語通訳】「淡路島カルチャーアンダント」募集開始	○		A 1 0 B 3				
	地場産業魅力体験事業	・地場産業の産地組合が行う体験型プログラム（工場見学会・ワークショップ開催、体験施設の環境整備、VR導入等）の経費に対して支援を実施する。	県	産地組合	- 実施 実施 - -	交流渦潮課（産業）	瓦については、東京で開催される「ジャパン・ホーム・ショウ2025」の出展による体験プログラムのPRにかかる展示ブースの設営等について交付申請があり交付決定済。線香・素麺については、申請検討中。			B 3					
	【地場産業・農水産業の活用】 ステップ2：国内外を対象とした販売体制の構築	・観光コンテンツの体験の予約の仕組み作り（シンプル化・WEB化）と継続できるための収益面での構造を構築する。	観光協会		実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	・R7.4～ 海外OTAサイト「KKDAY」で販売開始。 ・国内OTA「アクティビティジャパン」（R7.4～）及び「Localprime（神姫バス）」（R7.10）	○		A 1 0					
	【地場産業・農水産業の活用】 ステップ3：ファムツアによる情報発信（国内外対応）	・ステップ1で開発した観光プログラムを活用し、旅行会社・インフルエンサーを対象としたファムツアを開催し情報を発信する。	観光協会		実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	・定期的に（およそ毎月）に国内外のDMCに体験コンテンツのタリフを配信（約200箇所） ・国内外の商談会に参加（3か所）、FAMトリップ等の実施（14回）			A 1 0					
	兵庫デステイネーションキャンペーンをスタートとして、淡路島産食材（淡路島なるとオレンジなど）を生かしたお茶菓子等の開発を行い、宿泊施設等で提供する。	・「兵庫テロワール旅」の趣旨に沿って、有名企業と連携して淡路島産食材（淡路島なるとオレンジなど）を生かしたお茶菓子等の開発を行い、宿泊施設等で提供する。	観光協会	県、+3市、-くにみ協会	実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	洋菓子会社と共同で、淡路島なるとオレンジを活用した淡路島ならでは感のあるお茶菓子などを開発する。			A 1 0					
○ストーリーテラーとしてのガイドの養成とガイドを活用したプログラムの開発	ステップ1：多様なガイドの育成	・スポット限定のボランティアガイド・プロガイド、スループロガイド・多言語対応プロガイド（3市連携）の養成を実施する。 ・インバウンド向けにはファムトリップに合わせ模擬ガイドを実施する。 ・育成にあたってはガイド向けガイドブック（教本）を作成し、クオリティの統一に努める。	観光協会	3市	実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	・インバウンド対応が早急のため、英語通訳対応可能な人材を育成 ・「淡路島カルチャーアンダント」の募集（9/1～9/30）*応募25名 ・認定試験（基礎知識）11/9（英語面接）11/30 ・研修（島内）12/7（島外）12/21	○		B 7 C 7 D 3					
	ステップ2：多様なガイドを活用した着地型プログラムの造成	・ガイド案内をメインとした着地型プログラムを造成する。	観光協会	南あわじ市、地域おこし協力隊、観光協会会員、関連事業者	実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	・海外OTAで販売中の体験プランのオプションで「淡路島カルチャーアンダント」（通訳付き）プランを販売する	○		A 1 0 B 4					
	ステップ3：多様なガイドを活用した着地型プログラムの販売	・オンライン販売を強化・拡大し、専用ページ化する。合わせて多言語化した上で、海外OTAでの販売を実現する。	観光協会		実施 実施 実施 実施 実施	観光協会	「淡路島カルチャーアンダント」をピンポイントで活躍させたうえで、スルーガイドへと発展させる	○		A 1 0 B 4					

推進戦略1（商品戦略①：物語化）：「選ばれる観光地」をめざし、自然や歴史に培われた文化、産業、食の魅力・ポテンシャルを引き出す観光コンテンツの開発

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D 項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
○海、温泉、文化、食とコラボし、旅をきっかけとして健康になる「ヘルスツーリズム」（運動×休養×栄養×癒やし《例：アニマルセラピーなど》コンテンツの造成）の推進	淡路島ヘルスツーリズムの推進	淡路島ヘルスツーリズムの推進	・「淡路島で健康になる旅（ヘルスツーリズム）」のコンテンツを充実させ、魅力的な旅行商品としての価値向上に向けた磨き上げを実施する。	観光協会	県、3市、くにうみ協会、観光・宿泊施設、関連事業者、大学	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「食」をフックに、生産者との触れ合い、食文化や食材を深く知り、地産地消を楽しみながら癒される「ガストロノミーツーリズム」的要素をとりいれた、コンテンツを造成中			A 1 0
		ヘルスツーリズムに特化した宿泊プランの造成と販売	・食・温泉・リラクゼーション・サウナ等をヘルスツーリズムの観点で組み合わせた宿泊プランに、必要に応じて宿泊施設外のコンテンツを組み合わせて、観光協会HP等にて販売する。	観光協会	宿泊施設、島内各企業	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	上記で造成したコンテンツを観光協会HPから体験予約や宿泊プランへつながる導線を検討中。			A 1 0 B 3
		アニマルセラピー（動物で癒やされる）コンテンツの開発と販売	・淡路島モンキーセンター（サル）・じゃのひれアートリゾート（イルカ・馬）・ハーモニーフーム（馬・海中）等にてコンテンツを開発し、観光協会HPにて販売する。	観光協会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・淡路島モンキーセンター、じゃのひれアートリゾート（イルカ）、ハーモニーワールド（乗馬）に加え、シェアホースアイランド（馬との触れ合い）コンテンツを造成。			A 1 0
		高齢者や子どもの体調や症状に細やかに対応した食事提供	・細やかに対応した食事内容を宿泊施設HPにて予約販売する具体的な手法を確立し、島内宿泊施設に実装する。	観光協会	宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	具体的な手法を確立できるような専門家を探索中			B 8
		ヘルスツーリズムの情報発信の充実	・ヘルスツーリズムの定着とさらなる発展に向け、観光協会HPに特集ページを作成し、ヘルスツーリズムを紹介する動画を制作し、HPの内容の充実、新しい情報へのブラッシュアップを実施する。	観光協会	県、3市、くにうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	上記の事業展開にあわせ、既に作成済の特集ページのブラッシュアップ内容を検討中。			A 1 0
○港・海岸を拠点としたにぎわいづくりの推進	港・海岸を活用したイベントの開催	観光目線も取り入れた港の再整備計画策定の働きかけ	・画一的な整備ではなく、観光視点も整備計画に取り入れて、景観と賑わいが計画に盛り込まれるよう整備主体に働きかける。	観光協会	県、3市	要望	要望	要望	要望	要望	観光協会	画一的な整備ではなく、観光視点も整備計画に取り入れて、景観と賑わいが計画に盛り込まれるよう整備主体に働きかける。			A 1 0
		港・海岸で体験できる魅力的なプログラムの造成	・先進地の事例を調査・分析し、賑わいづくりに繋がるプログラムを造成し、磨き上げる。	観光協会	県、3市、関連事業者	調査	実施	実施	実施	実施	観光協会	・夫婦が案内する沼島クルーズ、海辺で馬と過ごすプランを造成			A 1 0
		各市の花火大会等に合わせ、船上からの花火見学、港を活用したマーケット等を実施する。	3市、各実行委員会	観光協会	準備	実施	実施	実施	実施	3市		洲本市：実行委員会において、開催に向けた協議を行っているが、日程等については確定していない。 南あわじ市：にぎわいづくり事業として、各地域の花火大会等イベントへの補助金を交付。 AWAHAWA2025、アマプロジェクト「きばつたらんかよ！阿万」を実施、AWAHAWA2025autumn、フクラリエ2025、まるやまと。～淡路島まるやまとFESTIVAL2025～を実施予定。 淡路市：2025年の淡路市夏まつりは、8月3日（日）にイベント周知は最小限に止めて開催した。民間事業者のクルーズ船を出航させるプラン等は、従来どおり民間事業者主導で事業展開し、実施した。			A 1 0 B 3
		大型クルーズ船寄港に伴う歓迎イベントや港の利活用につながるイベント等の実施を支援する。	観光協会、民間事業者等	市	-	支援	支援	-	-	洲本土木事務所	深日洲本ライナーを活用した、淡路島と岬町の交流事業を実施する。 ①成ヶ島（由良）で生物や海洋ゴミの観察といったSDGs学習 ②関西国際空港バッケヤード見学ツアー			B 3	
		漁港の活性化	・漁港の空きスペースを活用し、イートインスペースや魚の直売所、釣り堀等の整備や、朝市のようなイベントを実施する。	観光協会	県、3市、漁協、関連事業者	準備	準備	実施	実施	実施	観光協会	AWAJI島博にあわせて、由良漁協のセリ見学と由良の一本釣り魚ランチの掛け合わせコンテンツを造成			A 1 0

推進戦略1（商品戦略①：物語化）：「選ばれる観光地」をめざし、自然や歴史に培われた文化、産業、食の魅力・ポテンシャルを引き出す観光コンテンツの開発

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D 項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
○淡路島ならではの楽しみ方、過ごし方をテーマ別に情報発信	【ターゲットごとの情報発信】提供可能コンテンツを一覧化し、クラスターごとの親和性を想定した情報発信	・クラスター分類として、発地（距離）、インバウンド（欧米・アジア等）、趣味趣向、富裕層（レベルあり）、知的好奇心等に分けて発信する。 ・関西圏及び首都圏等へ発信力のあるマスメディアを活用する。	【ターゲットごとの情報発信】提供可能コンテンツを一覧化し、クラスターごとの親和性を想定した情報発信	観光協会	県、3市、くにうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・メディア・インフルエンサーの招聘をはじめ、R7.10～開設するインバウンド特化SNSアカウントやひょうご観光本部が運営する「Amazing HYOGO」などと連携して発信			A 1 0
		観光情報発信内容の見直し	・観光協会HPや季節ごとに観光情報を発信する「ぶらっと淡路島」等のパンフレットの内容をブラッシュアップし、県・市HPで発信されている観光情報と連動して発信する。	観光協会	県、3市、観光協会会員	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・観光協会HP画像・新着ニュースは季節感があり、タイムリーな情報を発信 ・観光協会インスタも旬の情報を発信（フォロワー1万人超え）			A 1 0
		メディアを活用した広告・宣伝	・夏は「はも」、冬は「淡路島3年どらふぐ」のシーズン直前に、各新聞社、ラジオ、テレビ局等マスコミ及び旅行会社への訪問、京阪神及び首都圏へのPRを実施する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・夏の淡路島キャンペーン 【日程・場所】5/23(金)・神戸ペイシェラトン 【内容】「鰐」「本物体験」ほか ・冬のキャンペーン 【日程・場所】11/11(火)・神戸ペイシェラトン 【内容】「淡路島3年どらふぐ」、アフター万博後の展開など マスコミのほか、関西圏DMCやDMOなどを招聘しネットワーキングイベントも開催 ・首都圏では、DMCなどを対象に「ネットワーキングイベント」を開催予定（R8.3）			A 1 0
	ローカライズされた情報の収集と発信	・地域のお祭りやイベント、地域の名物おじさん（おばさん）、フォトジェニックスポットなどローカライズされた情報を収集・発信する。	ローカライズされた情報の収集と発信	観光協会	3市、事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	地域の祭りやイベントを積極的に収集し、「新着情報」サイトから発信。			A 1 0 B 4
	富裕層・高付加価値層を対象とした媒体への掲載	・富裕層を読者層にしている雑誌等で、淡路島の歴史・食等についての情報を深掘りし、継続的に発信する。	富裕層・高付加価値層を対象とした媒体への掲載	観光協会	3市、事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・ひょうご観光本部「LUXURY HYOGO JAPAN」、「AMAZING HYOGO JAPAN」サイトのほか、「ディスカバーワン」などに掲載			A 1 0
	SNS、HPを活用した情報発信	・淡路島で開催されるイベント、祭り等の情報発信を協会HPで一元的に実施する。 ・フォロワー数の多いSNSアカウント運営者と連携し、淡路島の観光・店舗情報等について、継続的に発信したり、インスタ版投稿コンテストなどSNSの活性化施策を実施する。	SNS、HPを活用した情報発信	観光協会	県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・AWAJI島博HPにてイベント情報を発信。島博終了後は、観光協会HPで引き継ぎ発信。 ・観光協会SNSを活用して発信			A 1 0
	「淡路島ならではの本物体験」にかかる情報発信	・インフルエンサー等を活用した情報発信を展開する。	「淡路島ならではの本物体験」にかかる情報発信	観光協会	事業者		実施	実施	実施	実施	観光協会	・アジア圏と欧米豪別に、言語・コンテンツなどを分けてインフルエンサーを活用したSNS発信予定 ・欧米向けインバウンド特化アカウントを開設し発信（R7.10～）			B 8 A 1 0
	インバウンド向けの情報発信	・淡路島観光協会の繁体字版サイトを活用したインバウンド向けの情報を発信する。	インバウンド向けの情報発信	観光協会	県、3市、くにうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	香港・台湾のKOL（特定の業界・分野に精通し、専門性を持つインフルエンサー）を活用し、InstagramやFacebookなどを通じた情報発信を実施			B 8 A 1 0
	○推進戦略1のコンテンツ・プログラムを活用した旅行会社等への働きかけ	旅行会社や各種WEBページを介した働きかけ	・コンテンツ・プログラムを全量売り込むのではなく、クラスター分類に基づきテーマや付加価値レベルを鑑みた働きかけを展開する。	○推進戦略1のコンテンツ・プログラムを活用した旅行会社等への働きかけ	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ひょうご観光本部やせとうちDMO、神戸観光局など他団体と連携し、各商談会などを通じ「淡路島ならではの本物体験」コンテンツを旅行会社等へ売り込んだ。		

推進戦略2（商品戦略②：高付加価値化）：「京阪神以外からも選ばれる観光地」をめざし、首都圏等遠隔地発のシェア拡大に向けた誘客の促進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D 項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
◆遠隔地からの旅行者(インバウンド含む)に、旅行先として選択してもらうための高付加価値型（高品質）商品づくり ◆遠隔地発の旅行者のシェア拡大による観光の消費単価の押し上げ ◆大阪ベイエリア、瀬戸内海エリア、兵庫県での大型イベント等に連携し、その影響を見据えた観光ルート等の展開	○高品質グルメの観光商品づくりと食の伝道師の養成等 ○鳴門海峡の渦潮を活用した観光プログラムの磨き上げ	「御食国ブランド」の推進に向けた広域連携事業	・「御食国」の淡路、若狭、志摩と「都」京都が一体となり、「御食国ブランド」を確立するためのプロモーションを実施することにより、インバウンドも含めた観光促進を図る。	県、3市	御食国事業実行委員会（関西観光本部）、関係府県市（京都、福井、三重、3市）	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	御食国実行委員会へ参画し、御食国ブランドを活用したツーリズム造成や海外旅行会社向けのプロモーションなど、インバウンド向けの販売体制構築等に取り組んでいる。			A 1 0 B 3
		食の背景を語れる観光従事者の育成事業	・観光客の淡路島の「食」に対する満足度を高め、付加価値を向上させるため、「食」や「食材」の背景を語れる観光従事者を育成する。	観光協会	観光協会会員、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光客に対して食や食材の背景を語れる「食の伝道師」育成用動画を、観光協会HPの観光従事者用ページを通じて配信			B 2 B 3
		同一食材の中での目利き・タグ付け等で、グルメブランドのランク付け推進	・天然魚介類（鰯・サワラ・うに等）のランク付けを推進し、高級希少ブランドを高単価で販売する。	観光協会	各漁業協同組合	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	先進事例を調査中			B 3
		淡路島の食材を生かしたハラル料理・ヴィーガン料理の研修	・ハラルを学び、イスラム教を信仰するインバウンド客の受入環境を整備する。	観光協会	観光協会会員、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	対応済み施設や内容等の把握に努めている。			B 8
		淡路島限定！「ここでしか食べられない旅」プランの造成	・宿泊施設と高品質グルメ提供店舗での夕食コラボ旅行商品を造成する。	観光協会、宿泊施設、高品質グルメ提供店舗		準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	高品質グルメ提供店舗も含め、宿泊+夕食（又は2次会）などナイトコンテンツとしての仕掛けづくりを観光庁助成事業に申請（不採択）。実現可能策を検討中			A 1 0 B 3
		淡路島この時期限定！「この時しか見られない食べられない旅」プランの造成	・宿泊施設と高品質グルメ提供店舗での夕食、サンセットクルーズ（ナイトクルーズ）のコラボ旅行商品を造成する。	観光協会	宿泊施設、高品質グルメ提供店舗、関連事業者	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	・「海ホタルショー」宿泊プラン（あわら：2日間）造成 ・大阪発「海ホタルショー」プラン：インバウンド対象（ジャパンホリデートラベル）プラン造成未成立（来年度に持越）			A 1 0 B 3
		新たな淡路島産食材の魅力発信	・淡路島産食材のブランド化とメニュー開発、認知度の向上を図る。	食のブランド「淡路島」推進協議会		実施	実施	実施	実施	実施	洲本農林水産振興事務所	淡路島産の牛乳やその牛乳を使用しているスイーツなどを一体的にPRすることにより、認知度の向上や淡路島への来訪を促す。			B 3
		淡路島産食材「こだわり宣言店」制度の推進	・観光客等に対する淡路島産食材の認知度向上と需要拡大に取り組む飲食店を支援する。	食のブランド「淡路島」推進協議会		実施	実施	実施	実施	実施	洲本農林水産振興事務所	淡路島産食材を一定以上使用する「こだわり宣言店」として新たに12店舗から登録申請があり、観光客等にPRするためのパンフレットの作成を進めている。			B 3
		食のリレーイベントの開催	・「御食国月間」を定め、この期間に開催する「食に関するイベント」で、秋季の島外からの誘客を図り、淡路島産食材をPRする。	食のブランド「淡路島」推進協議会	観光協会	実施	実施	実施	実施	実施	洲本農林水産振興事務所	9月～11月を「御食国月間」として定め、週末ごとに島内各所で食の豊かさを知ってもらうためのイベントをリレー形式で開催予定			B 3
		世界一の食の島の推進	・古来「御食国」として都の食を彩ってきた淡路島の豊かな食材を生かし、文化・芸術レベルとなる「食」を提供する淡路島を目指す。	県、3市、観光協会	観光事業者（コアメンバー）	-	実施	実施	実施	実施	南あわじ市商工観光課	まちづくり会社の設立に向けた支援を実施。福良地区において、機運醸成イベントを実施予定。			A 1 0 B 3
○鳴門海峡の渦潮を活用した観光プログラムの磨き上げ		地域をより楽しめる海上と地上コンテンツを組み合わせたプログラムの造成	・渦潮クルーズと福良港（水揚げ・セリ・しらす天日干し）や、手延べ素麺見学・体験、旧市街散策・飲食店での食べ歩き等と組み合わせたプログラムを造成する。	観光協会、南あわじ市	関連事業者	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	・うずしおクルーズ貴賓室+地元寿司店出張料理の掛け合せや、クルーズガイドが地上コンテンツの案内プランを検討中			A 1 0 B 3
		鳴門海峡エリアの観光プランティング事業	・鳴門海峡の渦潮が育む海の幸を活かしたグルメ開発や、鳴門海峡エリアの自然と体験コンテンツをPRすることで、ブランド力を高める。	南あわじ市、鳴門市	南あわじ市観光事業者、鳴門市観光事業者	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市商工観光課	企画部会の実施。鳴門市と連携して作成したHP「うずしおぐるぐる」の改修等を予定。	○	A 1 0 B 3	
		【再掲】大鳴門橋に開通する自転車道を活用した新たなサイクリングルートの開発	・令和9年開通予定の大鳴門橋自転車道を活用し、徳島（四国）とつなぐ広域のサイクリングルートを開発する。	県、南あわじ市、徳島県、鳴門市	観光協会	-	-	準備	準備	実施	南あわじ市商工観光課	A S A トライアングル交流圏推進協議会において、デジタルマップの広報物を作成、情報発信を実施。			C 6 D 2

推進戦略2（商品戦略②：高付加価値化）：「京阪神以外からも選ばれる観光地」をめざし、首都圏等遠隔地発のシェア拡大に向けた誘客の促進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D 項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
○「ひょうごフィールドパビリオン」を活かした高付加価値化への対応（例：特別な体験ができるプレミア旅行商品の造成など）	大阪・関西万博に向けた着地型観光商品の開発と活用に向けた体制整備	・地域の「SDGsを体現する活動現場(フィールド)」を発信し、多くの人が見て、学び、体験する「ひょうごフィールドパビリオン」の展開に向け、食・農・自然・文化・なりわい等を「淡路ならでは」、「特別感」をコンセプトにした着地型観光商品として磨き上げ、活用できる体制を整備する。	・大阪・関西万博に向けた着地型観光商品の開発と活用に向けた体制整備	観光協会	県、3市、観光・宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「淡路島ならではの本物体験」として、現在112プランをオンライン販売中	○	A 1 0 B 4	A 1 0 B 4
		・欧米人を対象にした、トレッキングコースの整備と体験プログラムを造成する。	アドベンチャーツーリズムのプログラム造成	観光協会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・スマイルリボンと連携して、巨石巡りツアーなどからスマールスタート	○	A 1 0 D 4	
		・生産者等現地の生活者との橋渡しやコーディネートのできる人材を養成する。	多言語対応できる、ガイド・コーディネーターの養成	観光協会	3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「淡路島カルチャーアンダント」を募集、認定、育成していく予定	○	B 4 B 7 C 7 D 3	
	誘客・販売できるルートの確立	・多様なエージェントとの連携で、誘客・販売ルートをできるだけ多数確保する。	誘客・販売できるルートの確立	観光協会	ひょうご観光本部	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光協会主催「ネットワーキングイベント」を継続開催するほか、ひょうご観光本部、神戸観光局、関西観光本部、瀬戸内DMO、近畿経済産業局、徳島県など他団体や他地域と連携して商談会に参加するなど、AGTとのネットワークをさらに拡大させている	○	A 1 0	
○大阪・関西万博に併せ、ひょうごフィールドパビリオンと連携した淡路島独自の観光イベントを開催	AWAJI島博の実現に向けた取組の推進	・大阪・関西万博に合わせ、フィールドパビリオンとして兵庫県が認証するコンテンツをメインとして、淡路島ならではの魅力を十分に満喫していただく「AWAJI島博」を展開し、島内へのさらなる誘客を促進する。	AWAJI島博の実現に向けた取組の推進	観光協会	県、3市、くにみ協会	準備	準備	実施	実施	実施	観光協会	・メインとなる「淡路島ならではの本物体験」の造成とオンラインでの販売をはじめ、フィールドパビリオンと連携 ・「AWAJISHIMA観光スマートパスポート」の販売（283枚：8月末） ・淡路島ウェブスタンブラー「島たまGo」ユーザー数（3,777人：8月末）	○	A 1 0 B 4	A 1 0 B 4
	AWAJI島博に合わせた観光施設の高付加価値化	・AWAJI島博及び花博に合わせ、淡路ファームパーク イングランドの丘の施設内のコンセプト庭園及び花畠の整備を実施する。	AWAJI島博に合わせた観光施設の高付加価値化	南あわじ市	南あわじ市	-	実施	実施	実施	実施	南あわじ市 商工観光課	淡路ファームパーク イングランドの丘において、イギリスの湖水地方をコンセプトにした庭園「ピーターラビット・フラワーガーデン」を整備。 羊の放牧場に花畠等を整備。 花みどりフェアに合わせたイベントを実施。		A 1 0 A 1 1 B 4	
○特別感のある観光プログラムづくり（ドローンなどを活用したプライベート撮影など）	高単価でも販売できる、観光消費単価アップに寄与するプログラムの開発	・「いまだけ」「ここだけ」「あなただけ」を意識したプログラムを開発する。 【例】 観光地でお客様のためにドローンを飛ばし、お客様も映ったオリジナルのオンライン動画を販売 わかれめくり体験をした後、とれたてのわかめを現地でしゃぶしゃぶにして食べる体験コンテンツ	高単価でも販売できる、観光消費単価アップに寄与するプログラムの開発	観光協会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・ひまわり畑の中でのドローン撮影（夏季限定） ・淡路人形とゆかりの地をめぐるツアー（通年） ・鬼師から直接教わる鬼瓦づくり体験（通年）などを継続して販売中。 ・漁協セリ見学とイートインの掛け合わせプランも造成		A 1 0 B 3	A 1 0 B 3

推進戦略2（商品戦略②：高付加価値化）：「京阪神以外からも選ばれる観光地」をめざし、首都圏等遠隔地発のシェア拡大に向けた誘客の促進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D 項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
○首都圏・インバウンド等を対象としたキャンペーン		【再掲】富裕層・高付加価値層を対象とした媒体への掲載	・富裕層を読者層にしている雑誌等で、淡路島の歴史・食等についての情報を深掘りし、継続的に発信する。	観光協会	3市、事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・ひょうご観光本部「LUXURY HYOGO JAPAN」、「AMAZING HYOGO JAPAN」サイトのほか、「ディスカバージャパン」などに掲載			A 1 0
		徳島空港+レンタカー等の活用を首都圏内旅行会社等へ働きかけ	・徳島空港+レンタカー等の活用を航空会社、旅行会社、OTA等に働きかけ、旅行雑誌等又は各会社HPでの淡路島特集を展開する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・航空会社(ANA・JAL)ウェブサイトでの淡路島特集掲載 ・じゃらんnet、楽天トラベルで淡路島特集ページを開設	○	A 1 0	
		神戸・徳島空港等を活用した富裕層インバウンドの招聘(FAMトリップ)	・富裕層インバウンドを対象に活動しているランドオペレーター会社を招聘し、FAMトリップを実施する。	観光協会	関連事業者	-	-	実施	実施	実施	観光協会	香港・韓国タイなどのAGTを招聘 ・R7.9 香港AGT招聘			A 1 0 B8
		首都圏内旅行会社等へプラン造成の働きかけ	・首都圏在の旅行会社を招聘し、プロモーションを行う。	観光協会	関連事業者	-	-	実施	実施	実施	観光協会	・阪急交通社 首都圏発淡路島＆小豆島周遊ツアー造成			A 1 0
		空港を活用した広告プロモーション	・首都圏等遠方からの誘客のため、淡路島のPRや特産品の展示、販売を行う。	観光協会		-	-	実施	実施	実施	観光協会	R7.10中旬～ 神戸空港ターミナル1 淡路島広告を掲示			A 1 0 B8
		知的好奇心のある富裕層を意識したプログラムの造成	・産業観光・農水産業観光を完成させ、知的好奇心をくすぐるプログラムを造成する。	観光協会	島内各企業	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	富裕層対象のAGTをFAMトリップで招聘し、体験コンテンツのグレードアップへのアレンジなどを実施中			A 1 0 B4
○顧客層のターゲティングとDXの活用によるプロモーション		提供可能コンテンツ・プログラムを一覧化し、クラスごとの親和性を想定し検索可能とするシステムの構築	・構築したシステムで、お客様が自ら検索して、お客様のニーズに合った旅のコンテンツが見つけられる仕組みを構築する(AI活用を含む)。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「淡路島ならではの本物体験」のタリフ(検索機能付き)を、定期的(毎月程度)にAGTに送付。海外AGT対応のためタリフの多言語化も必要に応じて作成			A 1 0
		関西国際空港を利用する中国、台湾、香港からのインバウンド向けのインフルエンサーを活用したファムトリップの実施	・関西国際空港全体構想促進協議会等と連携し、台湾などからのインフルエンサーをターゲット別に招聘し、情報発信やツアー造成を実施する。	観光協会	県、3市、くにうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	関空に多く訪れるアジア圏インバウンドを中心として、引き続き香港・台湾のインフルエンサー及びFacebookを活用して情報発信を実施			A 1 0
		世界的観光立島・淡路市事業(はじまりの島あわチカラフェスティバル(淡路市マスコットキャラクターイベント事業))	2025大阪・関西万博の機運醸成に向け、淡路市へ「ゆるバース」(以前の「ゆるキャラグランプリ')を誇致し、本市の魅力を国内外に発信することで、誘客による地域活性化につなげる。	淡路市		-	-	実施	実施	実施	淡路市商工観光課	「大阪・関西万博」終了後の更なる誘引と淡路市マスコットキャラクター「あわ神」、「あわ姫」の知名度向上及び本市の歴史・文化を同時に情報発信することで、淡路島(市)の底力(アワチカラ)を広く市内外へPRする。 今年度も国営明石海峡公園を会場として、10月31日(金)から11月2日(日)に実施予定	○	A 1 0	
○遠隔地からの旅行行動を意識したルートの提案や徳島県、瀬戸内地域との広域連携による周遊ルート提案(広域連泊)		【徳島県との連携】 徳島・淡路広域観光連絡会議と連携した情報発信	・パンフレット等での情報発信を実施する。	県	徳島・淡路広域観光連絡会議(3市、観光協会、徳島県、徳島県内各市町)	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課(観光)	両地域の周遊及びリピーターの増加を促進するため、島内3市及び徳島県と共同し、来年度のクーポン付きのガイドブック「淡路島&徳島とくとく周遊ガイド」の作成に向けて、紙面構成などの方針性について打合せを実施した。			A 1 0
		【広域的な周遊】 首都圏やインバウンドを意識した広域周遊ルートの造成	・首都圏2～4泊程度のモデル周遊コース、関西空港発着の3～7泊程度のモデル周遊コースを、クラスターの嗜好別に造成する。	観光協会	【広域連携DMO】 関西観光本部、せとうち観光推進機構 【地域連携DMO】 ひょうご観光本部	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ひょうご観光本部・関西観光本部・せとうちDMOと広域連携を強化し、周遊ルートのFAMトリップを実施及び検討中。			A 1 0
		【広域的な周遊】 添乗員付きツアーを前提とした旅行会社への働きかけ	・広域周遊を前提におき、添乗員付きツアーを主に扱う旅行会社を中心に働きかけを実施する(首都圏以外の発地も含む)。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	R7.5 シンガポール(フォロージャパン)27名を受入。引き続きアプローチを継続。 【ルート】関空～淡路～岡山～瀬戸内クルーズ～大阪～関空			A 1 0
		【広域的な周遊】 連携先エリア(観光協会・DMO)における双方での情報発信	・ルートに含まれる他の観光協会やDMOのHPへの相互掲載を始めとする情報発信事業を実施する。	観光協会	せとうち観光推進機構	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・せとうちDMO主導「高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」に参画 ・せとうちDMOと連携してFAMトリップの積極的な受け入れなど連携を強化			A 1 0

推進戦略2（商品戦略②：高付加価値化）：「京阪神以外からも選ばれる観光地」をめざし、首都圏等遠隔地発のシェア拡大に向けた誘客の促進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			JSTS -D項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
○推進戦略2のコンテンツ・プログラムを活用した旅行会社等への働きかけ	ふるさと納税制度を活用した観光消費の促進	ふるさと納税返礼品として地域共通券「ふるさと南あわじ応援券」の商品を造成し、観光消費を促進	・南あわじ市内観光協会員の宿泊施設、飲食店、観光施設で利用できる応援券をふるさと納税返礼品として出品する。	観光協会	南あわじ市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	令和4年度7月から継続実施（南あわじ市から受託）			A 10 B 3
		各旅行会社の得意分野を把握した働きかけを推進	・高付加価値プログラムは、それぞれ旅行会社により得意・専門分野が異なることから、これらの違いを把握したうえでピンポイントな働きかけを実施する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ネットワーキングイベント、商談会、FAMトリップなどで旅行AGTの営業対象地域など特徴を把握。			A 10
		新たな誘客ルートを確保	大型クルーズ船の淡路島発寄港を推進し、クルーズ船を活用した新たな誘客ルートを確保し、淡路島内の観光事業を推進する。	洲本市		実施	実施	実施	実施	実施	洲本市商工観光課	昨年度寄港した事業者のクルーズ船は今年度、寄港予定なし。		○	A 10

推進戦略3（アメニティ戦略）：「快適に過ごせる観光地」をめざし、円滑な移動や快適な滞在を実現する受入環境整備を推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
◆公共交通によるアクセスの情報提供方法を充実・改善 ◆利便性の高い公共交通のネットワーク化等の働きかけ ◆未来型モビリティなど新たな移動サービスの導入 ◆来訪者の心地よい滞在を支援する受入環境の整備を推進 ◆多様な旅行者に対応するユーバーサルツーリズム（アクセシブルツーリズム）の推進 ◆旅行者目線を取り入れるとともに、観光客を気持ちよく迎える景観づくり・景観の再構築	○高速バス・路線バス・コミュニティバス間の接続性向上、新幹線・飛行機（関西3空港、徳島空港）・高速バスとレンタカーの活用促進【陸】	淡路島発着バス検索アプリ周知促進	・淡路島発着バス検索アプリ「バスモ」（乗継検索アプリ）QRコードを、観光案内所、バス(船)の切符売場、停留所、待合所、バス(船)内及び座席へ貼付するなど各種PRを実施（依頼）する。	県、3市、観光協会	淡路島地域公共交通活性化協議会、バス事業者、船舶事業者、観光協会会員施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	バスセンター待合所、観光案内所、観光施設及び関係各所のHに掲載などで周知を促進	○	B 8	
		観光地周遊バスの運行	・淡路島島内の観光地周遊バスの運行を、淡路島観光交通調整会議で協議検討するよう働きかける。	観光協会	淡路島地域公共交通活性化協議会、淡路市コմバス・パソナ無料シャトル・バンバンバス事業者	要望	検討	実施	実施	実施	観光協会	移動交通手段の充実について、あらゆる機会をとらえ提案 ・令和7年5月23日（関空・神空関連地域振興促進協議会） ・令和7年8月15日（淡路島観光戦略会議島内打合せ） ・令和7年10月3日（淡路島観光戦略会議）	○	B 8	
		お客様の選択肢としてのレンタカーの充実（EVの比重アップ）	・以下のパターンで選択肢と情報の充実を図る。 【例】促進のためのキャンペーンを検討（キャッシュバックに類似するプラン等） 徳島空港発着（EVの充実） 主要高速バス停（淡路SA・洲本BCなど） 大阪3空港、新神戸駅は同時PRなど	観光協会	レンタカー各社	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・淡路ICまで公共交通+レンタカー活用スタイルが定着（国内外含め） ・神戸、徳島空港からレンタカー利用は、神戸市港湾局及び徳島県観光スポーツ文化部と連携を強め促進する		D 1 3	
		淡路島観光協会HPアクセスページのリニューアル	・観光協会HPのアクセスページを改善する（関西3空港、徳島空港からJR、高速バス、船などの乗り継ぎを分かりやすく表示し、島内レンタカー業者へのダイレクト予約やバスモへの直結も検討する）。	観光協会	県、3市、観光情報発信する関連事業者、観光・宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光協会HPの島内移動手段一覧をより見やすく、わかりやすくブラッシュアップ予定		A 1 0	
		【再掲】公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進	①淡路島発着の公共交通乗換検索サイト充実を支援する。 ②高速バス停等の現地看板の多言語化等により、インバウンド等の利便性向上を図る。	県	3市	支援	支援	支援	-	-	洲本土木事務所	淡路島発着バス検索サイト「バスモ」（乗継検索サイト）を多言語化（中国語・韓国語）し、日本語以外でも検索可能となるようサイトの改良を支援している最中。	○	B 8	
		【再掲】徳島空港+レンタカー等の活用を首都圏内旅行会社等へ働きかけ	・徳島空港+レンタカー等の活用を航空会社、旅行会社、OTA等に働きかけ、旅行雑誌等又は各会社HPでの淡路島特集を開催する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・航空会社（ANA・JAL）ウェブサイトでの淡路島特集掲載 ・じゃらんnet、楽天トラベルで淡路島特集ページを開設	○	A 1 0	
		【再掲】島内宿泊施設等におけるEVレンタカー（カーシェア）などの導入促進	・高速バスで来島して、一定の範囲を車で回る需要に対応するため、宿泊施設や、高速道路のバス停駐車場の活用を働きかける。	観光協会	3市、宿泊施設・入場施設等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	R7.9～北淡IC高速バス停駐車場にカーシェア車を2台追加設置	○	D 1 3	
		淡路島MaaSの推進	観光客が公共交通を利用してストレスなく島内を移動できるよう「淡路島におけるMaaS」を推進する。	3市	淡路島地域公共交通活性化協議会	-	-	実施	実施	実施	洲本土木事務所	バスの利便性向上のため、島内乗合バスの運行系統についてアルファベットやアラビア数字により番号を付与するナンバリングを行う（R7.12月末決定予定）。	○	B 8	
乗り継ぎ検索システムの開発(南あわじ市版バスモの全島展開)	南あわじ市版バスモの全島展開及びユーザビリティの向上	・南あわじ市版バスモを全島全域に拡大する。 ・あわせて段階的に、①「観光地から探す」を全島展開②船を含む3回乗り換えの検索機能実装③目的地から検索の追加④その他機能の追加等を検討する。	県、3市、観光協会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・島内移動手段（レンタカー・カーシェア・タクシー等）の検索機能の利便性向上 ・英語以外の多言語対応作業中（中国語・韓国語）		B 8	
○未来型モビリティ（空飛ぶクルマなど）交通機関の早期誘致に向けた取組【空】	未来型モビリティの島内誘致及び活用推進	・未来型モビリティ（空飛ぶクルマ）事業者と積極的に情報交換・共有の協議を実施し、早期実現に向けた実施策などを検討する。 (実施策案) 島内で窓口となる行政機関の決定 誘致に関する問題点の洗い出し 候補地の選定 地権者等、周辺住民への説明（誘致場所の近隣に影響のない場合は除く）	県、観光協会、空飛ぶクルマ関連事業者	観光・宿泊関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	万博後の社会実装を見据え、県内において、空飛ぶクルマを活用したビジネス展開をめざす事業者を補助制度により支援している。（令和7年度は3事業者5事業が採択済）。淡路島においては、アクセス向上のための空飛ぶクルマ離着陸場の建設に向けた基本構想、基本設計が実施されている。		D 1 3	
	関西国際空港・神戸空港～洲本ヘリポートの早期誘致	・関西国際空港、国際化しプライベートジェット対応できる神戸空港から、新設した洲本のヘリポートの路線の早期認可を働きかける。	観光協会	宿泊事業者、ひょうご観光本部、JAL・ANA		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ひょうご観光本部「LUXUARY HYOGO JAPAN」サイトで、京都・大阪・神戸～淡路（ヘリ活用）プラン販売中。		B 8	
	ヘリポートを持つ他の観光地とのセット販売	・富裕層を意識し、ヘリポートを活用可能な宿泊施設等とセットしたコンテンツを開発・販売する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	他地域やヘリ活用の状況を踏まえ、DMCなどに働きかけていく		A 1 0	

推進戦略3（アメニティ戦略）：「快適に過ごせる観光地」をめざし、円滑な移動や快適な滞在を実現する受入環境整備を推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D 項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
○淡路地域サイクルツーリズムの推進	淡路地域サイクルツーリズムの推進	淡路地域サイクルツーリズムの推進	・「アイチ推進プログラム50（R1～5）」に基づく走行環境・受入環境の整備や、情報発信を実施する。	国、県、市、観光協会、民間事業者	淡路地域モデルルート推進協議会、観光・宿泊施設、協議会構成員以外の関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課	期間型自転車イベント「サイクルボール」を活用した滋賀県(ビワイチ)との連携イベントを実施しているほか、万博会場での連携PRブースを新潟県(サトイチ)とともに出展した		○	A 1 0 B 8 C 6 D 2
		マイカーや船舶以外で自転車を輸送できるための仕組みづくり（高速バスの活用）などを、各運輸機関に働きかけ多様な方法でサイクリストのアクセス向上を支援する。	県、観光協会、3市	交通関連事業者	準備	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	サイクリストだけでなく、二次交通の課題解決に含めて検討			B 8
	【再掲】サイクリストの走行環境整備	①サイクリストが安全・快適に迷わず走行できるよう路肩拡幅、ルート案内標識設置等を行う。 ②多様なサイクリストが快適に休憩できるよう、交通拠点等でのサイクルラック整備や、海峡を望む箇所にフォトスポットを整備する。	県、3市			実施	実施	実施	実施	実施	洲本土木事務所	・路肩拡幅L=200m整備（L=40m整備済） ・ルート案内の路面表示25箇所設置、ルート案内標識10基設置 ・鳴門海峡を望む箇所（南あわじ市）で、フォトスポットを整備（R7.8月末 契約済）		○	A 9
	【再掲】サイクリストの受入環境整備	・サイクリスト目線のHPの充実を図る（観光宿泊施設などのサイクリスト支援情報の発信等）。	観光協会	サイクルショップ、観光・宿泊施設など関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「淡路島の交通情報」などサイクリストからの要望を踏まえ、サイト掲載内容をブラッシュアップ			B 8
	【再掲】ASAサイクリングおもてなしスポットの登録※ASA：AWA/SANUKI/AWAJI	・サイクリストの休憩場所や自転車の修理場所である「おもてなしスポット」を設置する。	南あわじ市	観光・宿泊・飲食施設など関係事業者、鳴門市、東かがわ市	実施	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市商工観光課	観光施設以外にも「おもてなしスポット」を増やすよう広報を実施している。（現在29スポット登録）			B 8
	【再掲】シンボリイベントの開催	・他地域のサイクリングイベントとの連携も視野に入れたシンボリイベント（淡路島ロングライド150）を開催する。	淡路島ロングライド150実行委員会	県、3市、くにうみ協会、観光協会、関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	淡路県民局（総務企画室）	淡路島一周150kmのサイクリングコース（通称「アイチ」）を自転車で走る「淡路島ロングライド150」を今年度は今秋と来春の2回開催する。		○	A 1 0
	【再掲】鳴門・南あわじサイクリスト向けイベントの開催	・大鳴門橋自転車道開通に向けて南あわじ市と鳴門市で連携したイベントを実施する。	南あわじ市、鳴門市	観光・宿泊・飲食施設など関係事業者、鳴門市民間事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市商工観光課	道の駅うしおのリニューアルに合わせて、サイクリスト向けの情報発信を検討中。			A 1 0 B 3
	【再掲】ポタリングツアー実施	・レンタサイクルと飲食・観光施設と連携させたポタリングツアーの造成・販売を実施する。	観光協会	サイクルショップ、観光・宿泊施設など関係事業者	準備	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「サイクリングブック」をレンタサイクリングショップや掲載店舗に配付のみ。飲食や観光施設と連携したポタリングツアーの造成は、ナビゲーターが見つかり次第進める。			B 3
○万博を契機とした動きと連携し、大阪湾の船便運行に向けた取組との連携及び島内との交通ネットワークづくりの検討【海】	兵庫県域の大坂湾ベイエリア活性化推進協議会企画委員会淡路ワーキングとの連携	・万博が開催される2025年を見据え、短期に効果を発揮する交流や誘客を活性化するプロジェクトを優先的に検討する。 ・淡路島総合観光戦略推進の観点から協議会のワーキングに参画する。 ・同じ方向性をめざし、同協議会のとりまとめるプロジェクトと淡路島総合観光戦略のアクションプランの取り組みを進めることにより、大阪湾のベイエリアの活性化を図る。	県、3市、観光協会	兵庫県域の大坂湾ベイエリア活性化推進協議会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	「兵庫県域の大坂湾ベイエリア活性化基本方針」と同じ方向性をもってアクションプランの取組を進めるにあたり、県担当課と情報共有と意見交換を行う。			A 1 0
	関西経済同友会関西広域観光推進委員会の活動と連携	・大阪湾と淡路島をつなぐ舟運ネットワーク構築、さらに瀬戸内に繋がるクルーズ事業の拡大をテーマにワーキンググループを設定する。	観光協会	関西経済同友会関西広域観光推進委員会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ワーキンググループ会議開催の機会があれば、積極的に参加し、情報交換・共有を行う			A 1 0
	島外からの海上交通と島内交通のネットワークづくりの推進	・施設推進に向けた活動へ参画する（大阪湾舟運事業や主要各港と島内港を航行する実証実験の協力、検討会に参画）。 ・島内上陸後の二次交通を整理する。	観光協会	県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	同上 レンタカーの活用やカーシェアリングの導入を働きかけるほか、二次交通課題の解決に含めて検討			B 8
	観光要素の少ない大阪湾の目玉としての友ヶ島と連携した観光コンテンツ化	・要塞・砲台跡として、アニメで既に注目されている友ヶ島を、淡路島と絡めたコンテンツとして有効活用するための条件整備を進める。	観光協会	関西経済同友会関西広域観光推進委員会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	淡路島＆友ヶ島を経由し、和歌山マリナシティを絡めたチャータークルーズプランをオンライン販売中			A 1 0
	ホテル等が所有するクルーザーを利用した日帰りオプショナル商品の造成と販売	・洲本発着で、①岩屋②沼島③友ヶ島④和歌山マリナシティ等を巡る商品を開発して、システム登録、観光協会HP、宿泊施設HPにて販売する。	観光協会	宿泊事業者、関西経済同友会関西広域観光推進委員会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	同上			A 1 0

推進戦略3（アメニティ戦略）：「快適に過ごせる観光地」をめざし、円滑な移動や快適な滞在を実現する受入環境整備を推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			JSTS -D項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
○多言語化、AIを活用した観光案内などの地域としての受入環境整備の推進（官民の連携等による）	○多言語化、AIを活用した観光案内などの地域としての受入環境整備の推進（官民の連携等による）	淡路人形浄瑠璃観光客受入環境向上支援事業	・外国人観光客向け字幕作成やキャッシュレス決済対応機器の購入等、観光客の受入環境の向上に向けた取組に対する補助を実施する。	県	淡路人形座運営者	実施	実施	実施	実施	実施	県民課（文化）	国内外の観光客が淡路人形浄瑠璃に対する理解を深めるため、演目のあらすじ動画を多言語制作して、観光客の受入環境の向上に取り組む淡路人形座運営者に対して補助している。			B 8
		AI導入による観光案内の効率化とサービス向上	・サービス向上と効率化を目的とした、AI活用による案内業務（多言語対応含む）や島内の主要な交通拠点等にAIサイネージの導入等を実施する。	観光協会	3市、船舶事業者（明石案内所）	検討	実施	実施	実施	実施	観光協会	AIサイネージ導入等に向け、先行導入の淡路市や関係事業者等から情報収集を行い、導入について検討			B 8
		デジタル技術を活用したアバター観光案内の効率化とサービス向上	・関西国際空港及び淡路ハイウェイオアシスの2地点において、デジタル技術を活用した淡路市マスクコトキャラクターのアバターによるきめ細やかな案内業務（多言語対応含む）を行いつつ、地域における観光人材の確保を図る。	淡路市	淡路市	検討	実施	実施	実施	未定	淡路市商工観光課	昨年度に引き続き、国の交付金を活用し、アバターサービスというデジタル技術を活用し、多言語対応を含む、きめ細かな観光案内を島内外で展開する。			B 8
		多言語対応等インバウンド推進体制の整備	・多言語及び手話タブレットを島内観光案内所に配備する。併せて、観光協会から宿泊施設に対しタブレット等の導入を働きかけるとともに、各施設HPでのバリアフリー情報や外国語対応などを促す。	観光協会	県、3市、くにうみ協会、宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ポケトーク（携帯用自動翻訳機）を島内案内所（4か所）に配備。必要に応じて体験事業者にも貸出できるよう対応中			B 8
		【再掲】外国人ワーキングスキルアップの実施	・外国人日本語スキルアップ研修（又は勉強素材製作）を実施する。 ・淡路在住のワーキングスタッフからのヒアリングなどを踏まえたうえで日本語スキルアップの教材を作成する。	南あわじ市、淡路市	商工団体	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市、淡路市	南あわじ市：市内の在住外国人労働者等に対し、ネットワーキングイベントを実施予定。 淡路市：市内在住外国人に対し、ボランティア講師による日本語教室を年間を通じて開催する。現在、週1回（2時間程度）の教室を9箇所で実施し、ボランティアスタッフ8名で、受講対象者22名に対して講義を行っている。			B 2
		ユニバーサルツーリズム普及啓発推進事業	・兵庫県等主催の「UTコンシェルジュ育成プログラム」への参加や、「UTおもてなし研修」の淡路地域での継続開催を要望する。	県、ひょうご観光本部、芸術文化観光専門職大学	3市、観光協会、観光・宿泊施設など関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	「ひょうごユニバーサルなお宿」宣言・登録制度について、島内では26施設（県全体143施設）が宣言し、その内18施設（県全体77施設）が登録されている。（7/31時点）			B 8
		【再掲】高齢者や子どもの体調や症状に細やかに対応した食事提供	・細やかに対応した食事内容を宿泊施設HPにて予約販売する具体的な手法を確立し、島内宿泊施設に実装する。	観光協会	宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	具体的な手法を確立できるような専門家を探索中			B 8
○心地よい滞在を支援するユニバーサルツーリズムの推進（機運醸成、人材育成、サービスの見直し、環境整備（例：車いす利用者が波打ち際にまで行ける環境の整備など））	○心地よい滞在を支援するユニバーサルツーリズムの推進（機運醸成、人材育成、サービスの見直し、環境整備（例：車いす利用者が波打ち際にまで行ける環境の整備など））	ユニバーサルツーリズム情報の発信	・宿泊・観光・飲食施設等のバリアフリー情報を、「県市公共施設バリアフリー情報」、観光協会・県・3市・各施設のHPで発信する。	県、3市	観光協会、商工団体、青年会議所、関連事業者	調査	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	県公式観光サイト（HYOGO！ナビ）において、宣言施設・登録施設の取組内容を発信中（島内では宣言施設26施設、登録施設18施設が発信中）			B 8

推進戦略3（アメニティ戦略）：「快適に過ごせる観光地」をめざし、円滑な移動や快適な滞在を実現する受入環境整備を推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D 項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
○景観の再構築など観光客目線での提言を行う	○景観の再構築など観光客目線での提言を行う	淡路島旅行客へのおもてなし向上	・淡路島の玄関口（北・中・南）に観光客おもてなし看板の設置（北部は入替）要望や島内観光案内看板の統一を図る。	観光協会	国、県、3市、本四高速	要望	実施	実施	実施	実施	観光協会	AWAJI島博を機に設置した看板（淡路インター付近跨道橋、洲本IC出口交差点、道の駅福良前）設置個所を中心に、おもてなしの看板設置を検討する	○		B 8
		観光地魅力アップへの取組	・淡路島の玄関口（各インター出入口周辺、岩屋・福良・洲本港、主要バス停など）の環境整備（雑草対策、老朽化ベンチの入替など）やあわじ花トイレの改修・美化清掃を施設管理者に要望する。 ・淡路島の景観に調和し、夏は木陰をつくり、電線を目隠しするような街路樹の剪定・樹形づくりを推進する。	観光協会	国、県、3市、本四高速	要望	実施	実施	実施	実施	観光協会	引き続き県民局と連携して、国道管理者（国道管理事務所）及び県道管理者（県土木）に、環境整備を要望	○		B 8
		観光地の環境美化	・観光地におけるゴミの撲滅を推進とともにゴミの持ち帰り協力看板等を設置する。	3市	県	実施	実施	実施	実施	実施	3市 商工観光課	洲本市：主要観光施設において、ゴミ箱を設置しないことによる、ゴミの持ち込みを抑制するとともに、快適な観光環境を維持するため、常時清掃活動を実施する。また、市民等が参加する全島一斉清掃や3海峡クリーンアップ大作戦、ボランティア清掃活動に協力し、観光地における環境美化に努める。 南あわじ市：3海峡クリーンアップ大作戦等清掃活動の実施を継続する。 淡路市：全島一斉清掃による市民参加による取組みや「さんぽdeごみ拾いin淡路島」などの協力店にも交通拠点施設である「津名港ターミナル（観光案内所）」をエントリーさせることで、環境に配慮した取組みを行った。			
○ワーケーション需要の取り込みと受入環境の整備促進	ワーケーション情報発信の充実	・淡路島内のワーケーション施設情報を集約し、次のサイトへ情報提供する（参考：ひょうごでワーケーション）。 ・専用サイトを観光協会サイトに作成し発信する。	観光協会	ひょうごワーケーションサイト運営者、関連企業	実施 又は 要望	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	島内のワーケーション施設情報を「兵庫ワーケーション」サイトで情報提供（淡路：16施設）			A 1 0
	コワーキングスペースの充実	・各宿泊施設やパブリックスペース等でのコワーキングスペースの充実を図る。 (施策例) 施設改修の補助金等の創設・紹介 空き家、空き店舗等の情報の共有→事業者への紹介（施設改修の補助金等とセットしたPR）	観光協会	宿泊施設、県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会 交流渦潮課（観光）	概要と同じ			B 8
	地域の人々とのふれあいの場の仕組み作り	・ワーケーションの充実と長期化のために必要な、地域の人々とのふれあいの場を容易に作ることのできる仕組みづくりを実施する。	観光協会	関連企業、団体	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	概要と同じ			B 3
	受入環境整備にかかる補助金等支援	・国の補助金等の獲得または情報発信による支援を実施する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	現時点でワーケーション受入環境整備のみの観光庁助成金ではなく、引き続き国の補助金等の情報を収集する。			B 8

推進戦略4（情報戦略）：「相互理解のできる観光地」をめざし、「淡路島総合観光戦略」を島内外の各種セクターと情報共有、連携

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
◆島内の観光関連企業等との情報共有、相互理解の促進 ◆圏域内大型イベント事務局や広域連携DMO等との情報共有と連携 ◆島内の観光関連以外の事業者との情報共有、相互理解の促進 ◆上記活動と連動し、交流人口および、関係人口の増加に資する連携の企画	○島内の企業が互いに情報共有、情報交換の実施 ○大型イベント事務局、広域連携DMOとの情報共有及び連携（大阪湾、瀬戸内海、四国） ○島内事業者（観光以外事業者含）向け、観光戦略共有セミナーの開催 ○関係人口増加施策等と連携した交流促進策の実施（大学の研究活動との連携等）	島外進出企業との情報交換会の開催	・島外からの進出企業に「淡路島総合観光戦略」を基軸とした定期的な意見交換を開催する。双方の戦略・事業計画を情報交換し、淡路島観光戦略に沿った、より効率的で相乗効果の高いアクションプランを策定して実施する。	観光協会	島外進出企業、商工団体、県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	パソナやバルニバービ等の島外進出企業との意見交換はしていないが、FAMトリップの受入れの連携、商談会・ネットワーキングイベントへの参加などの相互連携を実施	○	A 6	A 6 A 6 A 10 A 10 A 6 B 4 B 4 B 3
			・宿泊特化型ホテルを拠点に、地域から提供される“食”“体験”“交通”的3要素について、地元企業や行政、団体等との連携を深める取組を実施する。	県、南あわじ市、淡路市	島外進出企業、商工団体、観光協会等	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	東浦地区において地元企業や行政、団体等との連携を深めるため、ホテル関係者等との意見交換実施する予定。	○	A 6	
			・島全体のブランド価値を考慮したバランスのよいプロモーションの要請	観光協会	島外進出企業	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「春うりよづに旅する島」ではじめ次回島の魅力を発信するプロモーション動画を、関空や大阪・関西万博会場等でのプロモーションで放映。淡路島観光協会HPや観光客の目に触れる箇所で放映。		A 10	
		せとうち観光推進機構（せとうちDMO）等との連携推進	・せとうちDMOや瀬戸内芸術祭事務局とも情報共有・交換を行い連携事業を実施する。	観光協会	県、ひょうご観光本部	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・せとうちDMOが実施する「高付加価値なインバウンド観光地づくり」事業に3市とともに参画。 ・R7.7 せとうち周遊ルート造成に向けてインバウンド専門家を受入、体験コンテンツを視察 ・せとうちDMO、瀬戸内BCをネットワーキングイベントに招聘。瀬戸内BCのFAMトリップ受入へと発展。		A 10	
		淡路島総合観光戦略説明会の開催	・県・3市職員、市議会議員、観光協会会員、商工会議所・商工会会員、青年会議所構成員などへ淡路島総合観光戦略説明会を実施し、戦略が円滑に推進できるよう協力を依頼する。	県、3市、観光協会	商工会議所、商工会议所、青年会議所	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	要請があればもちろんのこと、島内業界団体や地域団体会合などあらゆる機会・時間を捉え、「淡路島観光戦略」の啓蒙・理解をいただく		A 6	
		来島していない関係人口から来島する交流人口に移行するための効率的な手法の検討	・関係人口の人々に都市部と多自然地域とのマッチングなどを切り口とした直接アプローチを実施し、「淡路島に行く」というアクションを起こすための、背中を押す具体的な施策を検討・実施する。	観光協会	県、3市、企業、町内会等地域団体、ひょうご関係人口案内所	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	具体的な施策の検討まで至っていないが、兵庫県が導入する旅先ふるさと納税制度などを積極的に推進		B 4	
		【再掲】地域×大学×企業の「ひょうご絆プロジェクト」	・地域と大学や企業が連携し、大学・企業の持つ資源の活用や学生等の外部人材との交流により誘客につながるにぎわいづくり等の活性化を促進する。	県	3市、大学、企業、町内会等地域団体	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（多自然地域づくり）	4地域で実施（洲本市2、南あわじ市2）		B 4	
		島内参入大学生との意見交換会の実施	・島内各地で活動する大学生（大学）の活動内容を把握し、観光振興施策と連携可能な大学と意見交換会を実施する。	観光協会	県、3市、大学、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	京都産業大学経営学部学生と、ガストロノミーツーリズムをメインとする淡路島の観光活性に関する共同研究を開始		B 3	

推進体制と検証体制の確立

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2025年度の取組			J S T S - D 項目
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	主な取組	
<p>◆日本版DMO登録法人である淡路島観光協会を中心に、県、市、関係団体等もそれぞれ実施主体となって相互に協力して推進する</p> <p>◆淡路島観光協会のDMO機能（デステイネーションマネジメント/デステイションマーケティング機能）の更なる強化を図る</p> <p>◆淡路県民局、洲本市、南あわじ市、淡路市及び淡路島観光協会で構成する「淡路島観光戦略会議」が、観光戦略の重要な取組の方向付けや検証を行う</p> <p>◆「淡路島観光戦略会議」の構成団体自身の取組に加えて、民間企業・団体の取組や大型イベント実施主体、広域連携団体等の取組に関する情報収集に努め、連携して観光戦略を推進する</p> <p>◆日本版持続可能な観光ガイドライン（J S T S - D）の考え方や基準を取り入れつつ取組の推進を図る</p>	観光協会ツアーの実施（自主財源確保対策）	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源確保に向けて、観光協会企画募集型ツアーを企画・造成・販売する。 ・AWAJI島博を機に販売する「AWAJISHIMA観光スマートパスポート」を、島博終了後も販売する。 	観光協会	会員施設、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	<p>淡路島観光協会ツーリストとして、募集型企画旅行を企画・造成し、観光協会HPで販売</p> <p>・深日洲本ライナーでいく日帰りツアー 5/10～11/3</p>		○	A 1 0	
	観光戦略推進人材、財源確保に向けた協議	<ul style="list-style-type: none"> ・観光戦略を推進するため、必要な組織体制・人財（民間企業からの出向、又は観光協会直接雇用）と財源の確保について協議する。 	県、3市、観光協会	関連事業者、団体	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	<p>・「AWAJISHIMA観光スマートパスポート」の継続販売</p> <p>【利用期間】2025/11/1～（調整中）</p> <p>【利用施設】約30施設（島内他）（予定）</p> <p>【販売金額】チケット種類及び金額を算定中</p>		○	A 1 0	
	淡路島観光客満足度調査、消費単価、域内調達率等の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・登録DMOとして収集分析が必要な「来訪者のリピーター率」及び「観光客満足度」をインターネットによるアンケート調査を実施する。 ・満足度調査に合わせて、消費単価についての設問を追加し、調査を実施する。 ・域内調達率については、1泊2食のサービスを提供する宿泊施設の食材調達の状況の調査を実施する。 ・観光に対する住民理解度については、県民意識調査（淡路地域分）の中で把握する。 	観光協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	<p>観光戦略を効率的・効果的に推進するため、淡路島観光戦略会議等において、必要な組織体制・人財と財源の確保について引き続き検討していく。</p>				A 2	
	JSTS-Dの理解・推進	<ul style="list-style-type: none"> ・JSTS-Dに準じたサステナブルツーリズムセミナーを開催し、島内観光業界関連行政・団体・事業者の理解推進を図る。 	県、3市、観光協会	関連事業者、団体	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ・JSTS-Dに準じたサステナブルツーリズムセミナーを開催し、島内観光業界関連行政・団体・事業者の理解推進を図る。 				A 6
	【再掲】JSTS-Dのガイドラインを活用した評価指標の設定と推進														